

大阪の高槻から日本の高槻へ

未来へつなげるまちづくり

将来にわたり誰もが安心して暮らせる高槻を創るため、財政面を充実させるとともに、未来志向のまちづくりを進めています。これまで積み重ねてきた取り組みと成果をご紹介します。

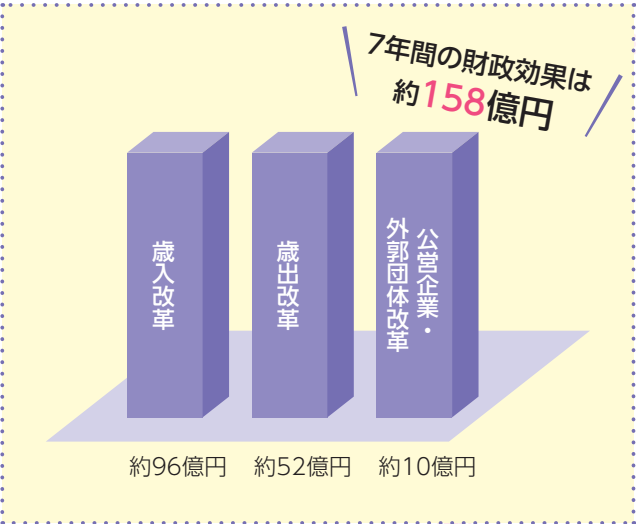
問合せ みらい創生室／Tel674-7392

次世代に明るい未来を

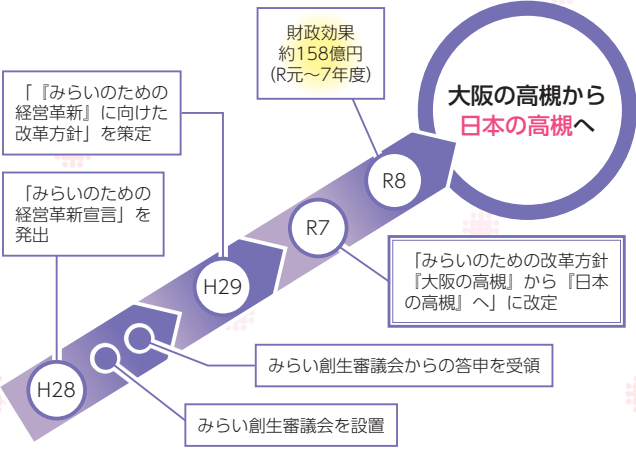
市は、財政の健全性が保たれている今のうちから、市政運営のあり方を見直し、20年後、30年後の未来に向けたまちづくりを進めるため、「みらいのための改革方針」を策定し、安定した財政のもと、より魅力ある高槻を目指す「みらい創生」の取り組みを進めています。

財政面の改革では、令和元年度から7年度までで約158億円の財政効果を生み出し、その財源を活用しながら、健康、子育て・教育、防災、歴史・文化、観光・産業など、さまざまな分野で、未来志向のまちづくりに取り組んできました。

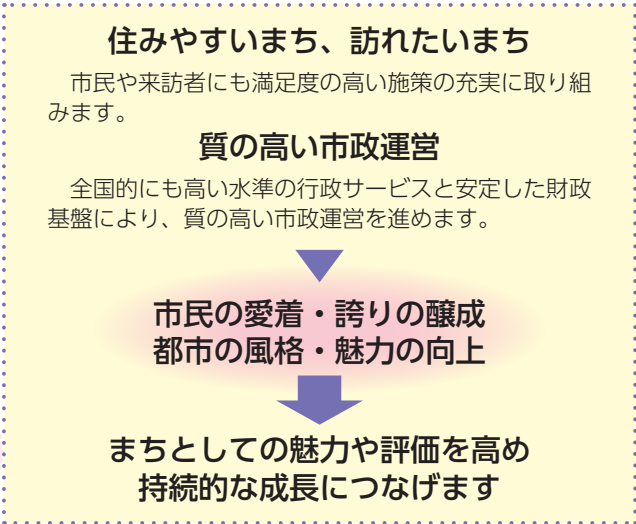
3つの財政改革で財源を確保し、健全財政を堅持



「みらい創生」の歩み



全国に存在感を示す日本の高槻へ

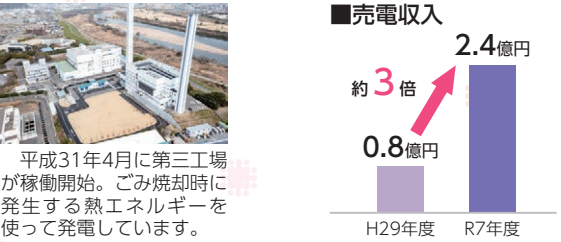


改革の成果（財政編）

歳入改革による増収、歳出改革による経費削減、公営企業・外郭団体改革の成果により、財源を生み出してきました。

歳入改革 効果額 約96億3,200万円

高効率ごみ発電で収入アップ



ふるさと納税の充実

返礼品の充実や効果的なPRで、寄附金額が6年間で約23倍に。

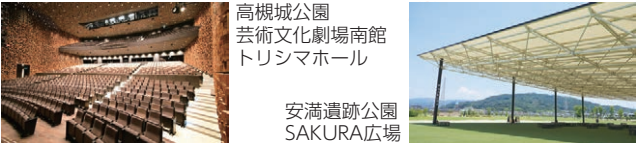


公平な税負担の徹底

未申告者の調査や納税の呼びかけを進め、税収の確保に努めています。

ネーミングライツ（命名権）を活用

市の施設の名称に企業名を冠するネーミングライツを積極的に活用。施設の維持管理費を創出しています。



市有財産を有効活用

市の土地の使い道を変えたり、使わなくなった土地を売却したりして、有効に活用しました。

<活用例>

- 高槻駅北自転車駐車場 兼 弁天駐車場
- 衛生事業所
- 市営バスJR高槻西停留所
- ホテル用地として貸し付け
- 夜間休日応急診療所に
- 事業用地として売却
- 関西将棋会館、駒音公園に

歳出改革 効果額 約52億4,900万円

新たな技術や手法の導入

新たな技術や手法を活用することで、光熱費などを中心に毎年経常的に発生するコストを削減しています。

- 街路灯や公園灯のLED化で光熱費などを削減
- 価格や環境負荷に配慮した電気・ガスの調達
- 島本町との消防指令事務の共同運用で経費を削減 など

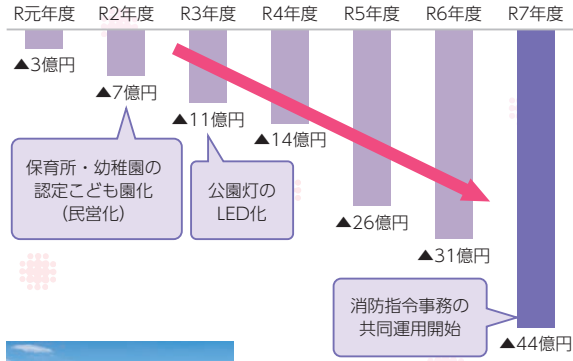
民間活力の導入を推進

施設の整備などに民間のノウハウや技術力を活用することで、少ないコストで最大の効果を発揮しています。

- 庁舎空調・照明機器更新でESCO事業を活用
 - 市営住宅の建て替えにPFI手法を導入（※）
 - 保育所・幼稚園の認定こども園化（民営化） など
- ※中長期事業のため効果額には含んでいない

ESCO事業：省エネ改修で光熱費を減らし、その効果で改修費用などをまかなう事業
PFI手法：民間の資金やノウハウを活用し、公共施設などの建設や運営を行う手法

■新たな技術・手法、民間活力の導入による削減累計額



PFI手法で完成した市営富寿栄住宅

公営企業・外郭団体改革 効果額 約9億6,800万円

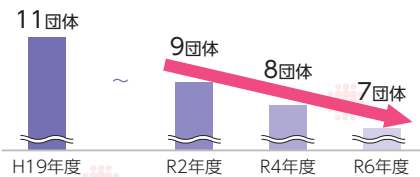
外郭団体の事業統合

- 社会福祉協議会と社会福祉事業団の事業統合 など

公営企業の経営努力

- マンホールふた広告による収入
- バス車内外の広告やグッズ販売による収入 など

■外郭団体数の推移



マンホールふた広告

改革の成果（まちづくり編）

財政改革で生み出したお金を活用して、未来に向けた魅力あるまちづくりを進めてきました。

医療・健康

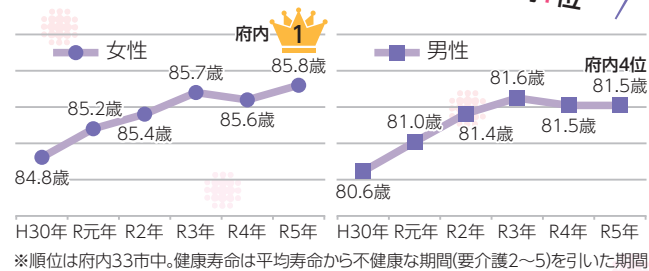
全国に誇る医療体制

大阪医科薬科大学、市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会と連携協定を締結し、「健康医療先進都市」として健康・医療施策の充実を推進。人口10万人あたりの医師数は、全国で10番目、薬剤師数は全国で3番目の多さです（令和6年）。

府内トップクラスの健康寿命

元気に自立して暮らせる期間である健康寿命。女性は平成30年以降、府内1位が続いています。

■健康寿命（直近5年平均）



医師の数は
全国有数

ドクターカー
も運用

充実した救急医療

救命救急センターと小児救命救急センターの両機能が同じ市内にあるのは、府内で2市（本市・大阪市）だけ。救急車の搬送先となる二次救急医療機関は12カ所も。

■市内搬送率

本市（R7年） 約 **97** %
全国平均（R5年） 約 **82** %

※本市のR5年は約96%



無料のがん検診

症状が出る前の早期発見につながるがん検診。多くの人を受けられるように無料で実施し、子宮頸がん検診の受診率は全国の主要都市の中で1位に。

■がん検診受診率（R6年度・主要都市ランキング）

子宮頸がん **25.7%** **1**位 肺がん **10.2%** **3**位

対象：政令指定都市・特別区、中核市、保健所政令市88市区

子育て・教育

子ども医療費を完全無償化

府内で初めて、18歳までの子どもの医療費を所得制限なしで完全無償化しました。

2歳児保育料を無償化

北摂で初めて、保育所などの2歳児クラスに通う子どもの保育料を無償化しました。

小中学校給食費を無償化

北摂で初めて、義務教育9年間にかかる給食費を恒久的に無償化しました。



子ども1人当たり
最大**150万円**
以上を支援

負担軽減額
約**12万円**

+

負担軽減額
約**12～83万円**

+

負担軽減額
約**57万円**

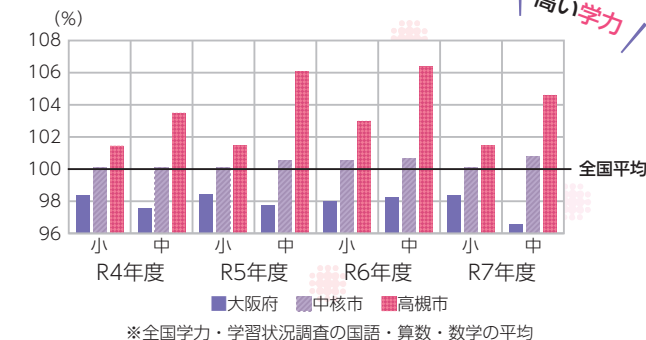


35人学級編制で学力向上

全国や府よりも早い平成25年度から始めた小学校の35人学級編制。令和5年度には中学校にも拡大し、子ども一人一人に合った学びを進めています。



■小中学校の学力推移 （全国平均を100とした場合の正答率）



高い学力

安全・安心

充実した消防団拠点施設

中消防署富田分署の建て替えに合わせ、消防団員の多様な訓練に対応できる拠点施設を整備。災害に強いまちづくりを進めています。



特殊詐欺対策を強化

急増する特殊詐欺被害を未然に防止するため「詐欺電話対策機器の無料貸し出し」や「特殊詐欺被害防止サポーター制度」を実施。すぐに実践できる対策で、市民の財産を犯罪から守っています。



歴史・文化・観光・産業

にぎわう安満遺跡公園

すっかり高槻の顔となった巨大な史跡公園。令和3年3月に全面オープンし、今では年間150万人以上の人々が市内外から訪れています。



盛り上がる将棋のまち

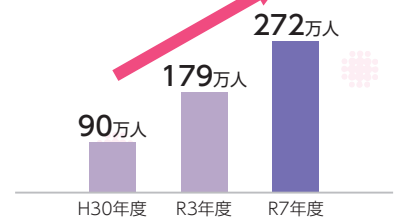
全国で初めて日本将棋連盟と包括連携協定を締結。さらに全国初の将棋のまち推進条例も制定し、関西将棋会館を中心に将棋文化を盛り上げています。

プレミアム付商品券を発行

物価高の影響を受ける家計や事業者を支援するため、令和2年度から毎年度、プレミアム付商品券を発行。令和8年度の第8弾は、4口買えてプレミアム率は過去最高の175%に。



■主要観光施設利用者数の推移



生まれ変わる高槻城公園



約1,500人を収容できるトリシマホールがある高槻城公園芸術文化劇場。令和5年のオープン以来、さまざまな芸術文化を発信し続けています。

整備中の北エリアは令和9年3月に一次開園予定。歴史情緒あふれる公園が誕生します。



さらなる成長へ

これまでの改革を未来に向けて継続・さらに発展させ、全国に存在感を示す「日本の高槻」としてさらなる成長を目指します。

富田地区のまちづくり

富田地区が有する豊富な歴史と文化を生かし、市西部の都市拠点としてふさわしい、にぎわいのあるまちづくりを進めます。



摂津峡周辺の整備

摂津峡周辺では、三好山にある国史跡「芥川城跡」の遺構を整備するなど、多くの人が訪れる観光拠点として、魅力を高めます。



たかつき未来パークの整備

年齢や障がいの有無などに関わらず、誰もが活躍し安心して暮らせる「地域共生社会」の全国初のモデル空間として整備を進めます。



高槻のまちづくりは高い評価を得ています

高槻のまちづくりは、全国的にも高い評価を得ていて、さまざまな民間調査で上位にランキングされています。

シビックプライドランキング

自分の住むまちに愛着や誇りがあるランキングで全国3位、関西1位に。

全国 **3** 位
関西 **1** 位

※人口10万人以上の都市278自治体中

- 1位 東京都中央区
- 2位 東京都港区
- 高槻市**
- 4位 東京都千代田区
- 5位 鎌倉市

（出典）株式会社読売広告社都市生活研究所「シビックプライド調査2025」

住みたい街ランキング

今後住んでみたいと思う自治体のランキングで関西8位に。

2026年
関西 **8** 位

2025年
関西 **14** 位

（出典）SUUMO住みたい街ランキング2025・2026 関西版

日本の都市特性評価

経済・ビジネス、研究・開発、文化・交流、生活・居住、環境、交通アクセスの各分野の87指標を基に評価。暮らし方別の評価で高槻は上位にランクインしています。

シングル（単身） **9** 位
ファミリー **7** 位
シニア **13** 位

※政令指定都市、中核市、県庁所在地、人口17万人以上の都市136自治体中

（出典）一般財団法人森記念財団 都市戦略研究所「日本の都市特性評価DATABOOK2026」